

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者(児)短期入所緊急利用				シート番号	011-154
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課 評価責任者(課長名) 佐野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市障害者(児)短期入所緊急利用支援事業実施要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	障害者(児)の家族が入院などの緊急の理由で在宅での介護ができなくなった際に、一時的に短期入所を利用できるベッドの確保が必要であったため、平成16年度から本事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	在宅で介護を受けている障害者(児)で、自立支援サービスにおける短期入所サービスの支給決定を受けているもの。				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	介護者である家族の入院等の緊急の理由により、一時的に介護を受けられなくなった障害者(児)が、短期入所を円滑に利用することができるようにし、在宅で介護を受けている障害者(児)及びその家族の福祉の向上を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	本市と協定を締結した社会福祉法人等の短期入所事業所において、介護者の緊急時に障害者(児)が短期入所により利用できるベッド(「緊急用ベッド」)を確保しておくもの。 本市は、緊急用ベッドの利用のなかった日について、協定を締結した社会福祉法人等に対して、ベッド確保のための負担金として1ベッド1日あたり8,628円支払う。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	社会福祉法人 コスモス、社会福祉法人 障友会					

Ⅲ. 投入量

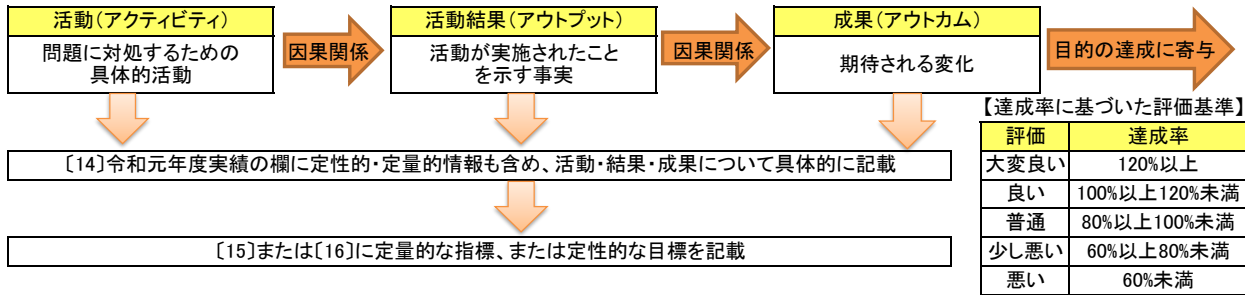
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	5,114	4,486	5,114	5,223	4,946	4,945	5,417
主な事業費内訳	負担金	5,114	4,486	5,114	5,223	4,946	4,945	5,417
財源内訳	国・府支出金							
	受益者負担金(使用料、手数料等)							
	市債							
	その他()							
一般財源	千円	5,114	4,486	5,114	5,223	4,946	4,945	5,417
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	5,934	5,306	5,934	6,043	5,756	5,755	6,237

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害者(児)短期入所緊急利用	シート番号	011-154
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	令和元年度は、家族の入院等を理由とした緊急時に短期入所の利用を必要とする障害者(児)32人が延べ157日利用した。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	延べ利用日数	日	目標値	—	—	—	—
				実績値	205	121	157	—
				達成率	—	—	—	—
				評価	—	—	—	—
		算出方法・設定根拠など 緊急時のための事業であるため、目標値の設定はしない。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	延べ利用者数	人	目標値	—	—	—	—
				実績値	55	45	32	—
達成率				—	—	—	—	
評価				—	—	—	—	
	算出方法・設定根拠など 緊急時のための事業であるため、目標値の設定はしない。							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	延べ利用日数	日	205	121	157
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,306	6,043	5,755
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	25,883	49,942	36,656
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	昨年度と比較した結果、延べ利用者数は減少し、延べ利用日数は増加しているが、これは、1回の利用による日数が増えていることによるものである。今年度は、緊急時に介護者が在宅で障害者を介護できない状況が数日にわたったケースが多かったと考えられる。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	障害者(児)短期入所緊急利用	シート番号	011-154
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 在宅で生活する障害者を介護する家族の入院等で、急に在宅での介護が困難になった場合に利用する制度であるため、当該事業がなくなれば、緊急的な対応ができなくなるため、在宅で生活する障害者へのサービス低下につながる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 障害者を介護する家族の生活は常にあり、緊急事態はいつ発生するかわからないため、休止することは困難である。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 ベッド確保のための負担金の単価の引き下げを行うことでコストを縮減する。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 本市からマスクや手指消毒用のエタノールを配布するほか、事業所においても3密の回避や消毒の徹底など、感染防止に向けた取組みを実行している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 本市と協定を締結した社会福祉法人等の短期入所事業所が緊急用ベッドを確保し、それに対して市が負担金を支払い、有事に備えるという事業であり、公民連携については既に対応済みで、その他について、改善の余地はない。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 当事業は、在宅で生活する障害者(児)の介護者の緊急時のための支援事業であり、利用者の減少において、制度の必要性が低いと判断できるものではない。また、延べ利用者数は減少しているが、延べ利用日数は増減しており、継続して事業所と連携し、障害者(児)の緊急時の受入れ態勢を確保する必要がある。ベッド確保のための負担金の単価の引き下げを行いコストを縮減することで、事業を継続していく。			